

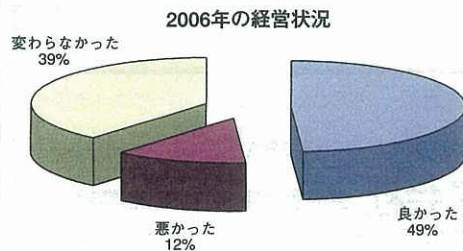
# 2006年総括 化粧品受託製造

**本** 紙が行った化粧品受託メーカー約100社(回答58社)へのアンケート調査の結果、06年の経営状況について「良かった」と回答した受託メーカーが約半数(49%)に上がることが分かった。さらに、売上高増減率で前年比2ケタを達成した受託メーカーも4割以上見られた。好況の背景には、健食企業をはじめ異業種による新規参入の増大が挙げられる。また、アンチエイジングが声高に叫ばれる中、白金ナノコロイドやフラーレン、EGFといった話題性の高いアンチエイジング素材が相次いで登場していることも一因だ。07年の見通しについてはさらに明るく、「良くなる」との回答は75%に達しており、過半数(57%)が2ケタ増の売上高増減率を見込んでいる。07年の化粧品受託市場も好況ムードに沸きそうだ。化粧品受託市場の最新動向をレポートする。

## 2006年経営状況、半数が「良かった」

今回の調査で06年の経営状況について「良かった」と回答した受託メーカーは49%に上った。最大の要因としては、健康食品メーカー・販売会社含む健康産業をはじめ、通販会社、クリニック(ドクター)など異業種による新規参入が活発だった点が挙げられる。実際、「良かった」と回答したところの多くが、「新規受注先を獲得できた」とコメント。その他の要因としては、前回調査(5月)にもあった「大手・中堅の化粧品本舗による外注の増加」「景気回復に伴う消費者の高額化粧品購買欲の向上」などが考えられる。

化粧品受託市場の好況ムードは07年に



も継続する模様で、07年の経営見通しについては7割以上(75%)が「良くなる」と回答。半数以上(57%)は売上高増減率で2ケタ増を見込んでいる。

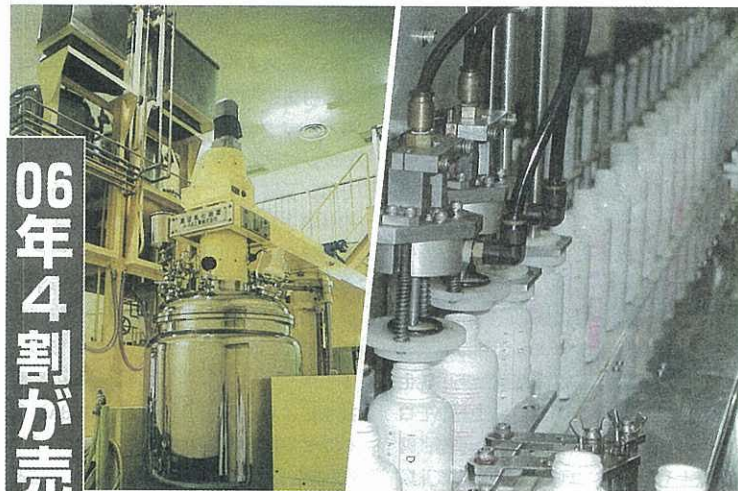
## 06年人気素材はユビキノン(CoQ10)

06年の人気受注素材については、昨年ほどのインパクトはなかったが、ユビキノン(CoQ10)がトップとなった。その理由としては「サプリメントの人気により消費者知名度が抜群」とする声が聞かれ、特に「広告規制が強化される中、有効性を語らずとも理解されている点が強み」としている。

他にもアンチエイジング素材は依然人気が高く、特に今年は白金ナノコロイドやフラーレン、アスタキサンチンなどの抗酸化素材が新たに上位にランクインしている。主な背景には、アンチエイジングが時代の潮流となり、コスメシューティカル(機能性化粧品)へのニーズが

# 化粧品受託市場、新規参入活発で好況

## 06年4割が売上2ケタ増達成



高まっていることなどが大きい。

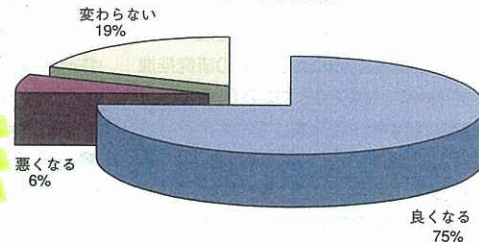
07年は、話題の新規素材「EGF」がトップタイに躍進、DNAリペア素材として注目の「AC-11」もランクインするなど、注目の新素材が目白押しだ。

また、素材だけでなくナノテクや高圧乳化、ゲル化など、技術面に注目している受託メーカーも多い。ナノ化原料を用いて肌への浸透力を高めた化粧品の開発、高圧乳化技術により乳化剤などの添加剤を低減し肌への刺激を抑えた化粧品作りなど、使用感や体感を向上させる技術への取り組みを課題に挙げるところも少なくない。06年に設備投資を行った受託メーカーの中には、これら最新技術に対応できる設備を増強したところも少なくない。研究設備の充実を図るところも見られた。

## 07年は差別化競争が激化のもよう

今回の調査から、化粧品受託市場は今

2007年の経営見通し



年も来年も概ね好況であることが分かった。ただ一方で、今年および来年の経営状況(見通し)について「悪かった(悪くなる)」と回答した受託メーカーでは、「既存取引先の販売減少」「新規顧客の販売が伸びず」「自社の商品開発レベルが上がらない」といったコメント、「変わらなかった(変わらない)」と回答したところでは、「競争が激化している」「差別化が難しい」といったコメントがそれぞれ聞かれた。

今後も化粧品販売に新規参入する異業種企業は増加の一途を辿ることが予想されるが、今回の調査からは好況の反面、受託メーカーの間では、新規顧客からの受注獲得に向けた差別化競争も激化の様相を呈していることがうかがえる結果となった。

# 06年人気受注素材&アイテム/07年予想

06年の人気受注素材(複数回答)トップは、ユビキノン(CoQ10)となった。ユビキノンは、05年のように突出してはいないが、依然人気素材であることがうかがえた。次いで化粧品としては定番のヒアルロン酸、コラーゲン、プラセンタと続いた。白金ナノコロイドや注目のフラレーン、アスタキサンチンなどの抗酸化素材もランクインした。07年の人気予想では、EGFをはじめ、AC-11などが新たな注目素材として浮上している。一方、人気受注アイテムは、美容液・化粧水・クリームが不動のトップ3として安定。傾向を見るとジェル(ジェル)商品や部分ケア商品に人気が高まっていることが挙げられる。

06年の人気受注素材は、ユビキノン(CoQ10)がトップとなった。主な理由として「サプリメントの大ヒットを受け、一般消費者への認知度が高い点が大きく、広告規制が厳しい中でも売りやすいのでは」などが挙げられた。また2位はヒアルロン酸、3位コラーゲン、プラセンタと06年は化粧品素材として定番の素材が上位にランクインした。

新たなところでは、前回調査(6月)で06年下半期の人気受注予想素材2位の白金ナノコロイドが5位にランクインしたほか、フラレーンやEGFなども得票数を増や

06年人気素材は「ユビキノン(CoQ10)」「健在、07年は「EGF」がトップ  
人気受注アイテムは美容液・クリーム・化粧水が不動

した。これら素材は、アンチエイジングが声高に叫ばれる中、コスメシューティカルの流れを受けて人気が高まっている。その他、健康食品で07年人気受注予想素材1位(1178号参照)のアスタキサンチンもランクインした。

一方、07年の予想を見ると、EGFが一気にトップタイに躍り出ている。EGFとは、「上皮細胞増殖因子」と訳され、皮膚細胞の新生が期待できると同時に、血流を促進して血管を修復し、コラーゲンの蓄積を促す効果なども期待されている素材。昨秋に化粧品増分として登録された新素材だ。07年は

EGF配合の化粧品が話題を集めるかもしれない(1177号EGF特集参照)。

また、ランク外から一気に浮上してきたのが、キャッツクローの抽出液「AC-11」。「DNAリペア」という新たな切り口でアンチエイジング市場にどこまで食い込めるかが注目だ。

人気受注アイテムは05年同様、美容液、化粧水、クリームがトップ3だった。次いでクレンジング系、(透明)石鹸などがランクインした。

近年の傾向としては、ジェル(ジェル)商品に人気が高いもようだ。また目元クリームやピーリング剤、ボディクリームなど、部分ケア商品などもニーズが高いことがうかがえた。

